

南海トラフ地震に備えるためのマイ・タイムライン

南海トラフなどの大きな地震がいつ起こっても対応できるように事前に備えておきましょう。

ハザードマップ(地震編)でチェック

- あなたの住んでいるところは
津波災害警戒区域に該当しますか？
☐ はい () m)
☐ いいえ

家庭の状況チェック

- 車 ☐ なし ☐ あり () 台
- ペット ☐ なし ☐ あり ()
- 持病薬 ☐ なし ☐ あり ()
- 避難に支援が必要な人
(高齢者、乳幼児、妊婦など)
☐ なし ☐ あり ()

避難行動

緊急地震速報を聞いたら、慌てずにまず身の安全を確保する。

□ 津波災害警戒区域内の場合

ただちに津波に備えて安全な場所に避難する。

- 地震発生からすぐに避難できる場合
→ 津波災害警戒区域外の避難所、避難場所に避難する。

[徒歩 () 分]

- 津波の到達予想時間が迫っている場合

→ 津波一時避難ビルに逃げる。

[徒歩 () 分]

□ 津波災害警戒区域外の場合

→ 避難が必要な場合は、津波災害警戒区域外の避難所、避難場所に避難する。

[徒歩 () 分]

津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報、注意報が解除されるまで避難を続ける。

- 引き続き後発地震の発生に警戒する。
- 地震の備えを再確認する。

地震発生

津波警報・注意報発表
(地震発生約3分後)

繰り返し
地震発生

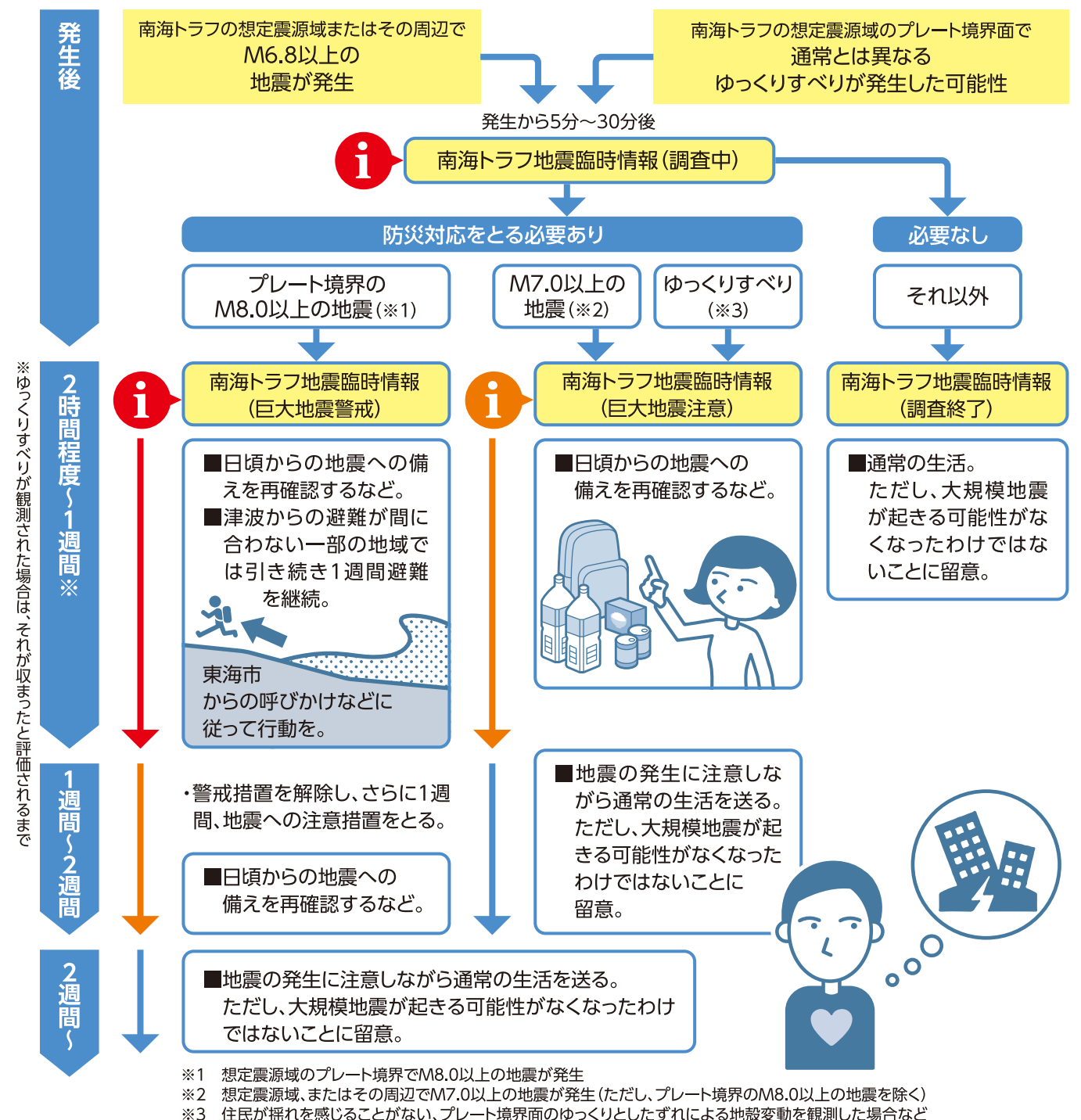
津波警報・注意報
解除



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- 南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- 政府や東海市などからの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



Point

事前避難対象地域

地震発生後では津波からの避難が間に合わないおそれがあるため、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)の発表後、政府からの呼びかけを受けて、避難指示を発令すべき対象として、東海市があらかじめ指定した地域。
東海市は、「東海市南柴田町イノ割」を2021年(令和3年)に事前避難対象地域に指定しました。(ハザードマップ 地震編参照)